

中央地域での 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時:平成26年1月29日(水)18:30~19:30

場所:教育総合センター

※平成25年度 第7回目

平成26年2月

鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年1月29日(水)18:30~19:30
場所:教育総合センター 青年会館研修室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	鶴丸城二の丸通り会 男性	① 鹿児島市の観光地について感じているのは、スポット化されていてリンクされていないということである。鶴丸城二の丸周辺、西郷銅像、御楼門、仙巖園がリンクされれば、素晴らしいまちづくりができると思う。	① 鹿児島には素晴らしい史跡が残されており、また、継承されております。それらを点ではなく線として結び付け、リンクさせていくことで、鹿児島の魅力がより一層高まっていくと思っておりますので、そのことを踏まえたまちづくりを進めてまいりたいと思えます。	経済局	※市長回答のとおり
2	鹿駅前本通り会 男性	② ホテル業をしているが、鹿児島県や市の大きなイベントがあるときは、県外から多くの宿泊客に来ていただいている。しかし、イベントがないと県外からの客は少ないので、波がなくなるように、継続的に来てもらえるような施設を上町地区にも作っていただけると、街の活性化にもつながるのではないかと。	② 上町地区周辺は、鹿児島市の北の玄関口と位置づけております。特に、鹿児島駅周辺は、皆様にも検討委員会にご参加いただき、様々な事業を進めようとしておりますが、集客が見込める施設が必要かと思っております。 また、県においては、ウォーターフロント地区を中心市街地の回遊性の向上やにぎわいの創出のために、複合施設を検討されているようでもあります。現在はドルフィンポートがございますが、こちらは期限が来ると県へ返却することになっておりますので、これに匹敵するような施設を作してほしいと、私どももお願いしております。鹿児島駅周辺の事業は、鹿児島市が責任を持って取り組むべき事業ですので、一つ一つ計画を実施していきたいと思っております。 鹿児島でのイベントについては、現在は夏は花火大会、秋はおはら祭、冬は光の回廊を実施しております。四季を通してイベントを開催することで、街の活性化につなげ、多くの方に鹿児島に来てもらえるような魅力あるまちづくりを進めてまいります。	企画財政局 経済局 建設局	(企画財政局) 市長回答のとおり (経済局) 現在、本市におきましては、「四季を通じたイベントづくり」を促進するため、民間団体が実施する、多くの市民や観光客を呼び込める新たなイベントに対する補助制度を設け、本市の新たなイベントとして定着を図る取組等を実施しているところでございます。 (建設局) 本市では、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成を図るため、鹿児島駅に隣接する旧国鉄用地(浜町1番5)に、各種イベントや催しなど、多目的に利用できる屋根付きのイベント広場を有する「市・にぎわい」ゾーンを整備することとしております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年1月29日(水)18:30~19:30
場所:教育総合センター 青年会館研修室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	中央・上町地域まちづくりワークショップ 男性	③ 中央駅と比較すると、鹿児島駅自体の発展はこれ以上は望めないのかもしれないが、鹿児島駅はバス、市電、フェリーなど交通の拠点であるので、それを街のにぎわいに結び付けられないかと常に考えている。上町のにぎわいや活気を取り戻すということがまちづくりの最終目標であるという声が多い。上町は、鹿児島県・市の発祥の地であるが、歴史・文化だけでおさまって良いものだろうか、という気もしている。 また、桜島の大噴火から100周年を迎えたが、またいつ大噴火を起こすかわからない。100年前の大噴火の際は、本土では震度6から7の地震が発生するなどの悲惨な体験をしている。上町は古い街並みで木造建築も多く、耐震性の面で心配しているところである。	③ 鹿児島駅周辺は、昔は多くの人でにぎわい、行政・文化・歴史の拠点でありましたが、現在では官公庁や報道機関も移転してしまいました。上町地区においては、鹿児島の発祥の地であるという歴史的なものを踏まえながら、いかに人を誘客・集客して以前のにぎわいを取り戻し、回遊性を生み出すかが課題であると考えております。 鹿児島市では、鹿児島駅周辺の土地利用計画に基づき、緑の空間や市の広場、交通の結節拠点を位置づけて、事業を進めております。県において、ウォーターフロント地区ににぎわいを創出する施設を作っていたら、皆様にお約束した路面電車の路線新設についてもしっかりと取り組んでいくことができ、この地域の一層の活性化につながっていくと考えております。	企画財政局 建設局	(企画財政局) 市長回答のとおり (建設局) 昭和56年5月以前の建築物については、耐震性が不足している恐れがあることから、本市では、木造住宅の耐震診断・耐震改修に対して助成を行っております。
4	上町維新まちづくりプロジェクト 男性	④ 交通拠点が中央駅に移ったことや役所などの主要な拠点が市の南部に移転したことで、上町が衰退したと言われて久しい。それに代わる拠点として、鹿駅周辺やドルフィンポート周辺においては、大胆なアイデアを取り入れ、目玉になるような施設の整備に取り組んでいただきたい。 一方で、上町は、歴史的な資産を数多く有している。仙巖園、近代化遺産があり、また、明治維新150周年も控えているが、住民の意識は薄いように感じる。意識を高める活動を市民活動でやっていきたいので、行政にもバックアップする体制を整えていただきたい。今の時点では広報も地味な印象がある。世界遺産とは世界規模のものだと思うので、もっと大胆に取り組んでいただきたい。	④ 近代化産業遺産は、世界文化遺産登録への国内の推薦を得たところであり、鹿児島県を筆頭に、協力しながら、登録へ向け取り組んでまいりたいと思います。行政だけでなく、民間の協力も必要であり、行政が事務局となって、皆様の力をいただきながら前に進むことが重要であると思います。鹿児島市においては、世界遺産登録に向けた組織整備を行う手立でもしておりますし、人員配置についても、県と連携しながら行っております。鹿児島の歴史・文化・景観・自然については、他県や世界においても類のない、素晴らしい財産であると考えております。 昨年は、世界の火山会議が鹿児島で開催されました。1,000人を超す世界の研究者が来られて、桜島が爆発する様子を見て、このような地域に60万人を超える市民が住んでいることに驚き、歴史を守っていることの素晴らしさを感じていらっしゃいました。多くの方が関心を持っているこの時期に、より一層力を入れて、鹿児島の情報発信に努めていきたいと思っています。	企画財政局 建設局 教育委員会	(企画財政局・教育委員会) 市長回答のとおり (建設局) 鹿児島駅周辺地区については、鹿児島駅前広場の改修や鹿児島駅前交差点の信号交差点化等の基盤整備に係る調査検討等を行うこととしております。 また、駅に隣接する旧国鉄用地では、地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、本市の北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成を図ることとしております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年1月29日(水)18:30~19:30
場所:教育総合センター 青年会館研修室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	上町タウンマネジメント 男性	<p>⑤ 世界遺産登録の推薦が決まったが、鹿児島市は準備が遅れていると思う。鹿児島駅前、易居町、名山町一帯は、現在は閑散としているので、鹿児島駅周辺の土地利用計画だけではなく、商店街をテコ入れや若手経営者の育成など、市として何らかのアクションを起こしていただきたい。</p> <p>また、人が集まれば、食べ物やお土産の展開が必要だと思うが、その準備について議論を深めるべきではないか。</p> <p>国道10号線より上では文化遺産が連なり、下では商店街が連なっていて、性格が異なっている。磯地区だけでなく、国道から上の地域は景観をそろえる必要がある。また、篤姫ブームのときには駐車場が全くなく、大型バスが玉龍高校付近に連なっているという状況だったので、何らかの方策を考えていただきたい。</p> <p>世界遺産の登録に関しては住んでいる人の意識が薄いように感じるので、説明会を適宜開催していただきたい。子ども達へは県が「タイムトラベル」という冊子を作って配布しているようだが、その後の先生のフォローで興味を持つようにしていけば、子ども達の意識も変わってくると思うので、教育面での取り組みも必要ではないかと思う。</p>	<p>⑤ 世界文化遺産への登録に向けては県が事務局として取り組んでおられますが、異人館等の市の施設も含まれておりますので、市でも磯地区を含めた周辺地域の環境整備に取り組んでいかないといけないと思っております。現在はその機運が高まっていない状況であるということでしたので、我々も広報にも力を入れていきたいと思っております。</p> <p>鹿児島駅周辺の整備計画については、3つのセクションに分けて整備を進めております。その中で大型バスや乗用車の駐車場も確保しておりますので、世界文化遺産登録の際にも多くの観光客に対応できると思います。</p> <p>また、名山町や易居町などの周辺地域においては、市役所の西別館(仮称)も建設しており、緑の回廊を作るなどの周辺整備を進めております。この地域は御楼門整備の取り組みも進められておりますので、鹿児島駅を中心としたまちづくりを更に進め、多くの人がこの地域を訪れるよう進めていければと思っております。</p> <p>国道10号については、バイパス整備の話もありますが、鹿児島島の基幹道路ですので、早期整備を要望していきたいと思わずし、そこから派生した市道については整備をしっかりと進めていきたいと思っております。</p> <p>また、商店街が主体となって行うにぎわい創出や地域の活性化につながるイベント等については、「頑張る商店街支援事業」や「地域のよか店コラボ支援事業」、「にぎわい商店街づくり支援事業」などの支援策を活用していただいて、にぎわい創出につなげていただければと思っております。</p> <p>世界文化遺産登録の教育現場での情報伝達については、教育委員会を通して、学校へしっかりと伝えていきたいと思っております。</p>	<p>企画財政局 経済局 建設局 教育委員会</p>	<p>(企画財政局) 市長回答のとおり</p> <p>(経済局) 商店街に対しては、これまでも支援施策の案内をしています。商店街の要望に応じて支援してまいります。</p> <p>(建設局) 磯地区については、平成26年4月1日から磯地区景観計画を施行し、歴史的価値のある建造物と周辺の美しい自然、桜島等への眺望が一体となった景観づくりを進めるとともに、建造物の改修など、磯地区の景観づくりを進める住民等の取組を支援していくこととしております。</p> <p>今後、南洲門前通りでも同様に、住民の皆様と話し合いながら、歴史的雰囲気大切に守るための取組を検討してまいりたいと考えております。</p> <p>国道10号鹿児島北バイパスについては、磯地区の慢性的な渋滞緩和のため、早急に整備を図らなければならぬ路線の一つであることから、引き続きあらゆる機会を捉えて早期整備を要請してまいります。</p> <p>(教育委員会) 教職員の管理職研修会や教科別研修会を通じて、「かごしまタイムトラベル」を活用した授業実施について、各小・中学校に呼びかけてまいりたいと考えております。特に小学校6年生社会科(明治の国づくりを進めた人々)や中学校2年生社会科(雄藩の成長、倒幕への動き)の学習における活用が有効であると考えております。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年1月29日(水)18:30~19:30
場所:教育総合センター 青年会館研修室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	中央・上町地域まちづくりワークショップ 男性	<p>⑥ 南洲門前通りの景観を残してもらいたい。市においてもこの通りを景観形成重点地区に指定しようという計画があるようだが、一方で石塀が壊され、マンションが建設されて見晴らしが悪くなっており、いずれは南洲神社や西郷隆盛の墓からの眺めが悪くなるのではと思っている。南洲門前通りを歴史の通りとしてその景観を残そうと考えている一方で、それを壊すようなビルの建設を認めている。市各課の業務が縦割りになっていて、横の連携が取れていないように思う。</p> <p>また、大龍小学校のフェンスを、歴史的な通りに見合うものにしてほしい。風格が増し、歴史が感じられると思う。</p> <p>南洲門前通りが、名前だけが残って他には何も残らないということがないようにしていただきたい。</p>	<p>⑥ 鹿児島市では、景観を守っていくために、景観条例を施行しております。城山から桜島が見えるよう高さ制限を設けたり、色彩制限を設けたりしております。一方、施主の方が建物を建築するときは、建築基準法に基づいて実施することになります。その中で、市の条例である景観条例をどうリンクさせていくかが、課題の解決につながると思います。鹿児島市では、景観形成重点地区を少しずつ広げていきたいと考えております。磯地区についても景観形成重点地区に指定されますので、今後はビルの建築も厳しくなっていくと思います。南洲門前通り地区についても、指定できるかどうか、今後検討していかなければならないと思います。</p> <p>大龍小学校のフェンスについては、歴史ある街並みを踏まえて取り組みを進めていきたいと考えていますので、今後の検討材料の一つとさせていただきたいと思います。</p> <p>行政は縦割りでセクションで物事を解決するというのは、多くの方から苦言を呈されております。様々な部署が互いに連携し、情報共有をしながらまちづくりを進めていかなければならないということで、関係する部署が集まって課題解決に当たっております。</p>	建設局 教育委員会	<p>(建設局) 南洲門前通り地区については、鹿児島市景観計画において、景観形成重点地区候補地として位置づけており、随所に残る歴史的雰囲気大切に、風格とまとまりのある景観づくりを進めることを目標としています。</p> <p>石垣等の歴史資源の保全や眺望確保については、地域住民の機運の醸成と地権者のご理解とご協力が必要となりますので、関係者の意見を聞きながら検討を進めるとともに、関係部署とも連携を図る中で、南洲門前通り地区のまちづくりを進めていきたいと考えております。</p> <p>(教育委員会) 大龍小学校のフェンスについては、今後、関係部局と協議し検討していきたいと考えております。</p>
		<p>⑦ 南洲門前通りから階段を昇って西郷隆盛の墓へ行く人が少ない。階段の下に駐車場を作ってもらえれば、通りにもぎやかになるのではないかと。</p>	<p>⑦ 駐車場の設置に当たっては、土地の地権者との問題もございますので、今後実態を調査させていただきたいと考えています。</p>	建設局	<p>ご提案の箇所については、今後、現況確認を行いたいと思いますが、付近にはアパートや個人住宅が密集しており、当該箇所に駐車場を設置するには、土地取得に係る地権者等との調整など、様々な課題があると考えております。</p> <p>なお、公園利用者の駐車場については、西郷南洲顕彰館等を訪れる方々の利便に供するために、階段上の方に設置しており、現在も多くの来訪者にご利用いただいております。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年1月29日(水)18:30~19:30
場所:教育総合センター 青年会館研修室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	鶴丸城二の丸通り会 男性	<p>⑧ 照国神社の近くで店を営んでいるが、この付近は県外や海外からのお客様も多い。しかし、付近には防犯灯があるが、あまり明るいものではなく、私の店の明かりを消すと真っ暗になってしまう。スポット的なまちづくりではなく、中央駅～天文館～照国神社～西郷銅像～御楼門～上町地区と、リンクさせるまちづくりをしてほしい。</p>	<p>⑧ 道路照明灯については、「道路照明施設設置要綱」を策定して設置しております。市民の方はもちろん、観光客の方が安心して散策ができるよう、地域の皆様と連携し、防犯灯の設置も含めて、安心安全なまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>観光地については、流れをリンクさせる動きをしていかなければならないと思いますし、情報発信をしていかなければと思います。我々行政をはじめ、観光団体、商店街、経済界と連携しながら、しっかりとしたまちづくりをしていきたいと思っています。</p>	市民局 経済局 建設局	<p>(市民局) 防犯灯は、夜間における犯罪の防止と市民の通行の安全を図り、明るく住みよいまちづくりを推進するため、町内会、自治会等により設置、維持管理されており、市では町内会等の負担を軽減するため、設置に関する経費や電気料の補助を行っているところです。 防犯灯の設置につきましては、地元町内会等と協議をしていただき、当該補助事業をご活用いただきたいと思っております。</p> <p>(経済局) 市長回答のとおり ※当該通り会には街路灯の設置に際し、助成制度の活用ができる旨お伝えしてあります。通り会の要望に応じて支援してまいります。</p> <p>(建設局) 車道用である道路照明灯は、道路交通の安全・円滑化を図るため、地元から要望等があり、「道路照明施設設置要綱」に基づく設置要件を満たす箇所に設置しております。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年1月29日(水)18:30~19:30
場所:教育総合センター 青年会館研修室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	上町タウンマネジメント 男性	<p>⑨ 市民協働課の補助金(=「市民とつくる協働のまち事業」補助金)を3年間いただき、うまく団体のスタートを切ることができて、感謝している。また、市街地まちづくり推進課の皆さんにも様々な協力をしていただいた。</p> <p>今後市民活動を続けていく中で団体の基盤を強くするためにも、人的な協力や、資金や事業へのアドバイス、また、違った助成や補助で協力していただけるとありがたい。</p>	<p>⑨ 第五次総合計画においても、協働を主眼に置いてそれぞれの事業を進めておりますが、市民との協働、地域との連携がまちづくりの大きな力になると思います。取り組みへの行政の支援といたしましては、「市民とつくる協働のまち事業」において、NPOへの公的な活動に対する資金援助を行っております。</p> <p>また、「コミュニティビジョン推進事業」において、各地域で作っていただいた協議会へ資金提供を行い、その協議会の中でまちづくりに取り組んでいただくよう、取り組みを進めておりますので、その中で、様々な事業に携わっていただきたいと思っております。</p>	市民局	<p>本市では、コミュニティビジョンに基づき、小学校区を単位として、町内会をはじめとした既存のコミュニティ組織や市民活動団体、企業など地域の幅広い団体が、地域課題の解決に向け連携する「地域コミュニティ協議会」を設立していくこととしており、現在、3モデル地域で取組を進めており、27年度からは市内全域で順次設立してまいります。</p> <p>本市としましては、協議会の活動を各面から支援し、地域コミュニティのさらなる活性化を図ることとしており、まちづくりに取り組んでいる市民活動団体におかれましても、協議会の活動の中で、協働(・連携)していただきたいと考えております。</p> <p>また、市民活動団体の組織運営の手法や、事業の企画方法などのノウハウを習得する「市民活動応援講座」を開催しており、これも活用しながら自立を図っていただきたいと考えております。</p> <p>なお、「市民とつくる協働のまち事業」の補助期間終了後も、団体の自主事業の後援やチラシ配布等の広報の協力など、様々な形での活動支援を行ってまいりたいと考えております。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年1月29日(水)18:30~19:30
場所:教育総合センター 青年会館研修室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	鶴丸城二の丸通り会 女性	⑩ 照国神社側から流れてくる観光客と天文館から流れてくる観光客は、長年、国道10号で断ち切られており、アクセスが悪い。西郷銅像前に撮影ひろばがあるが、高齢者には横断歩道の青信号の時間が短く、歩道橋を渡るのも大変なので、国道を横断して銅像側まで来る人はほとんどいない。県外の人には、鹿児島は資源はあるけど能力がないと言われる。鶴丸城跡にも御楼門ができるということなので、人の流れが断ち切られないよう、天文館と照国神社側と一体感を持たせてほしい。	⑩ 国道の横断歩道については、我々も同じ思いで国や県へ要望しておりますが、解決法を見いだせない状況です。これからも、ご意見の観点も踏まえて、強く要望していきたいと思えます。また、御楼門は県の用地になりますので、民間主導の復元に向けた取組に、県と連携しながら協力していきたいと思えます。 鹿児島へせっかく来ていただいたのに悪いイメージを持って帰られるということは、おもてなしの欠如になりますので、しっかりと対応していきたいと思えます。	市民局 経済局 建設局	(市民局) 当該箇所については、国道10号横断方向の青信号の延長について、24年10月に交通安全要望が出されたところであり、鹿児島中央警察署におかれては、同年11月に信号周期の短縮と国道10号を横断する青信号秒数の延長をされたところです。 交通危険箇所等の安全対策に関する市民の皆様からのご要望につきましては、今後とも、警察や道路管理者等の関係機関と連携しながら対応してまいります。 (経済局) 西郷銅像のある歴史・文化ゾーンは、市立美術館等の公共施設が集積し、多くの市民・観光客が訪れる地域であり、隣接するいづろ・天文館地区と連携することで、中心市街地の更なる活性化が見込まれることから、25年度から始まった第2期鹿児島市中心市街地活性化基本計画の区域に新たに設定したところです。 (建設局) いづろ・天文館地区については、安全性や利便性、回遊性の向上を図るため、いづろ中央交差点スクランブル化に向けた取組を行うこととしております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年1月29日(水)18:30~19:30
場所:教育総合センター 青年会館研修室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	上町タウンマネジメント 男性	<p>⑩ 私はアマチュアの劇団に所属しており、演劇を通したまちづくりの活動をしているが、音楽や美術と比べて、芸術の中で演劇は育っていないように思う。演劇を通して歴史を市民に楽しく知ってもらおう事業をしているが、イベントをやる上で施設を利用しにくいように思う。来年は国民文化祭も鹿児島で開催されるので、これを機に、演劇にも活動しやすいよう、(例えば連続した複数の日の利用を一度に申請できるよう)、条例や規約の改正をしてもらいたい。</p> <p>また、江戸・明治のころには、上町に芝居小屋があったと聞いている。上町に市民が利用しやすい拠点施設があれば、さらに市民が活躍できるのではないか。</p>	<p>⑩ 他都市に何うと、劇団の活動に支援をし、まちづくりの力にしている都市もございます。施設そのものはいろいろございますが、施設を活用できない環境もあるかとは思っています。</p> <p>鹿児島駅周辺の土地利用計画で、緑の空間ゾーンや市・にぎわいゾーン、交通結節・駐車場ゾーンを計画しておりますが、市・にぎわいゾーンの中で、施設を建設するのかなど、事業を進めていく中で、今のご意見も参考にしながら、検討していきたいと思っております。</p>	建設局 経済局 教育委員会	<p>(建設局) 鹿児島駅周辺土地利用基本計画では、イベント時や文化活動の発表の場として利用できるステージを、「市・にぎわい」ゾーンに設置することとしており、今後、基本設計・実施設計を作成する中で具体的に検討することとしております。</p> <p>(経済局) 「市・にぎわい」ゾーンの中核的な複合施設について、機能や適切な規模について検討するための基礎調査を実施しております。</p> <p>(教育委員会) 市民文化ホール等の使用申請につきましては、使用希望日の1年前の月の初日に、市民文化ホール、谷山サザンホール、宝山ホール、県民交流センターの合同で、使用申請受付会を開催しており、できるだけ公平に多くの希望者に使用していただけるよう、それぞれの使用希望日が重なった場合は、抽選で決定しているところでございます。</p> <p>なお、創立後引き続き10年以上の活動を行っている市内の文化的団体等が、10周年などの節目の記念事業として使用する場合は、使用申請受付会より前に仮予約を受け付け、連続する日の使用の予約を行うことができる場合もございますので、ホール使用の予約につきましては、事前にホール事務所までお問い合わせくださいますようお願いいたします。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年1月29日(水)18:30~19:30
場所:教育総合センター 青年会館研修室

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	上町維新まちづくりプロジェクト 男性	<p>⑫ 現在の清水中学校の裏山には、かつて清水城の山城があったと言われている。また、中学校の敷地にはかつて大乘院というお寺があったが、大乘院は清水城の館の跡に建てられたものである。しかし、寺跡についての案内板はあるが、清水城についての説明は全くされていない。</p> <p>そこで、「山城のあるまちづくり」をテーマに、上町タウンマネジメントと上町維新まちづくりプロジェクトで活動を始めた。現在は皆さんに山に入って清水城跡を知ってもらうために山払いをしている段階で、まだまちづくりには結びつかないところである。清水城は島津氏が8代160年に渡って使った城であり、その城下町として鹿児島島の街ができたという物語をお知らせして、山城を紹介しないと難しいと思っている。</p> <p>今後、行政にも協力をお願いすることがあるかもしれないので、その際はよろしく願いたい。</p>	<p>⑫ 清水城跡は、埋蔵文化財包蔵地として指定されており、開発はできないようになっております。保存のための調査や確認調査、発掘調査を行ってまいりたいと思いますので、ご協力をお願いしたいと思いますし、市といたしましても、しっかりとした取り組みを進めていければと思います。</p>	教育委員会	<p>今後、開発計画が申請された場合には、保存のための協議を行い、必要に応じて確認調査や発掘調査を行い、記録保存に取組みます。</p> <p>また、清水城跡の説明板につきましては、地元の方々のご意見を伺い、内容や設置場所を検討したいと考えております。</p> <p>【これまでの経緯】</p> <p>清水城跡は、埋蔵文化財包蔵地として指定されており、開発に際しては、文化財保護法に基づく所定の手続きをとる必要があり、事前の協議なしに開発はできないようになっております。</p> <p>清水城跡の民有地では、昭和58年と平成3年に民間企業による宅地開発の計画が申請され、協議の後、鹿児島市教育委員会は発掘調査を実施しましたが、その後開発計画は進められないまま現在に至っております。(第一次調査 昭和59年10月15日~12月4日、第二次調査 平成4年6月1日~9月30日)</p> <p>発掘調査の成果につきましては、平成5(1993)年3月に鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(16)「清水城跡」として調査報告書が刊行されております。</p>